

リーディングDXスクール事業【実践事例】

さいたま市立大東小学校(埼玉県)

【取組内容⑤】 その他（実践内容を地域内外に普及するための具体的な取組等）

市内へ授業公開



他校で研修の実施



Teamsで情報発信

08/24 16:05 編集済み
研究発表チーム

大東小学校は、文部科学省のリーディングDXスクール事業の指定校となり、ICTの「普段使い」による教育活動の推進のために研...

本日の校内研修の様子を100名を超える先生方に視聴していただきました。お忙しい中、御覧いただきありがとうございました。

研修を通して、特に印象に残ったことは
①「授業において児童生徒が一番忙しいか」という視点で授業研究を行うことが「個別最適な学び」に向けたヒントになること。(9分30秒～)
②クラウドを使うことで協働的な学びが深まるということ。(1時間7分30秒～)

三井先生がお使いになった研修資料と研修の様子を公開します。「個別最適な学び」「協働的な学び」の実現に向けて、参考になれば幸いです。

大東小 DX研修動画
簡易表示

さいたま市立大東小資料.pdf
kenkyuu > General

👍 17

大東小学校への質問	大東小学校記入欄
<ul style="list-style-type: none"> ・巡視する際を考えていること、事前の準備などは教えてほしいです。 ・ループシークは各クラスが設定している？それとも学校で単元ごとに考えている？ ・個別最適化の学習はいつから取り入れているのか（低学年はどうしているのか） ・3年生の自由進度学習は、まだ科目の視点が身につくまでに時間がかかると思うが、3年生で取り入れている意図が知りたい。 	<ul style="list-style-type: none"> ・基本的には今まで通りの巡視とあまり変わりません。子どもたちが今何をやっている、どのようなことを考えているのか、ただしいのか。アドバイスできることがあるのか。 ・準備は特ではありません。普通の教材研究と同じだと思います。 ・学年で作って試している段階です。まだ正解がないので・・・ ・昨年度の校内研修本発表会に向けて行い始めました。本格的に全クラスで意識し始めたのは、今年からだと思っています。 ・個別最適な学びや協働的な学びを体験するために、自由進度学習は全学年で必要だと思っています。
<ul style="list-style-type: none"> ・教科間のICTの使いやすさ ・共同編集機能のあるソフトのおすすめ ・授業内容とテスト問題のギャップ ・個別学習のための仕方 	<ul style="list-style-type: none"> ・教科間というよりは、先生方の得意分野から始めてみるとよいと思います。私は算数から、●●先生は社会が得意なので社会から等、教科間にはそれほど差を感じていません。 ・CANVAとエクセルです ・今回のような授業形態でも認知(テスト)に大きな差はみられていません。しかし、非認知能力やメタ認知では差

質問にクラウド上で回答

- ・市内のエバンジェリストや視察に来た教職員に授業を公開し、実践や事例を発信した。
- ・参観者からの質問に対して、クラウド上で回答し、実践する上での後押しをした。
- ・依頼があった小学校2校で研修を行い、ICTの活用の仕方や授業デザインについて説明・演習を行った。

- ・市内の全職員が所属しているチームで、授業づくりやICT活用事例などの情報発信を行った。
- ・校内研修の様子をTeamsでライブ配信し、160名を超える教職員が参加した。

リーディングDXにかかわる動画

<https://youtu.be/44wvp-bdMmc>

- ・ICTを活用した授業や研修について動画にまとめ、外部に公開した。

